

登録コード	E9123304	開講年度	2026					
授業科目	教育心理学特別演習 E						担当教員	高橋 史
英文授業名	Advanced Seminar in Educational Psychology II						副担当	
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					専門理論または実証的知見と結びつけながら自身の意見を建設的に表現できるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					学術雑誌または各種メディアに掲載された論文・記事の要点を迅速かつ的確に読み取れるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、多文化協働、健康長寿							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	研究実施のための倫理審査の申請から口頭発表に至るまでの一連の研究活動を実施する。							
(5)授業計画	第 1 回：オリエンテーション：科学者実践家モデルとは 第 2 回：研究計画の立案(1)：イシューを明確にする 第 3 回：研究計画の立案(2)：実証的知見とイシューを結びつける 第 4 回：研究計画の立案(3)：仮説を立てて研究方法を決める 第 5 回：研究実施の準備(1)：測定用具の基本情報を収集する 第 6 回：研究実施の準備(2)：予備実験または予備調査を実施する 第 7 回：研究実施の準備(3)：実験・調査プロトコルを作成する 第 8 回：研究実施の準備(4)：倫理審査に申請する 第 9 回：研究実施の準備(5)：臨床試験に登録する 第10回：データ収集：データの入力・管理およびリスクモニタリング 第11回：データ分析(1)：予備分析 第12回：データ分析(2)：中核分析と追加分析 第13回：データの考察と発表(1)：結果と先行知見を結びつける 第14回：データの考察と発表(2)：研究の限界点と今後の展望を結びつける 期末レポート							
(6)成績評価の方法	・ 授業のねらい の到達度を測る各授業回の課題：50% ・ 授業のねらい の到達度を測る期末レポート：50% ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	() 指示に準じた最低限の作業が遂行されており, () 作業の質を高めるための新たな作業内容や遂行方法等について自ら発案し, () 特定のテーマについて5編以上の学術論文を引用しながら過去の研究知見を整理できており () 特定のテーマについて10編以上の英語学術論文を引用しながら過去の研究知見を整理できており () その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」 () から() の4項目を満たしていれば「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」。2項目までできていれば「水準にある」。							
(8)事前事後学習の内容	・ 授業中に配布される資料や論文検索システムなどを使って授業内容を十分に予習・復習してから次回授業に臨むことを強く推奨する。							
(9)履修上の注意	・ 研究室所属学生のみを対象とする。 ・ 発表レジュメおよび原論文には必ず目を通してから出席すること。自習に時間を割くことを苦にしない学生の受講を求める。							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	高橋史研究室（東校舎4階 E406） オフィスアワー 木曜日13:00～14:30 TEL 026-238-4231 e-mail f_taka@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	指定しない							
【参考文献】	指定しない							